

BLITZEN TIMES

レースレポート

UCI 国際レース

ツアー・オブ・ジャパン



イベントレポート

公開トレーニング
& ライドイベント

インフォメーション

フレンドシップクリテリウム
ボランティアスタッフ募集
大道ポリスの自転車安全教室

リーダー増田と新世代選手で挑んだツアーレース

増田個人総合優勝

国際自転車競技連合 (UCI) 公認国際レース

ツアー・オブ・ジャパン2021

5/28 (金) 1st/ 富士山ステージ
5/29 (土) 2nd/ 相模原ステージ
5/30 (日) 3rd/ 東京ステージ

ツアー・オブ・ジャパン

5月28日から30日の3日間にわたって開催された国際自転車競技連合 (UCI) 公認国際レース「ツアー・オブ・ジャパン」。本来ならば8日間・8レースかけて開催される国内最大級のツアーレース。しかし今年はコロナウイルス感染拡大を受け、全3ステージに規模を縮小、選手を含む関係者全員のPCR検査の徹底や接触制限等の厳戒な感染対策が敷かれ、全ステージ無観客での開催となった。

今回のレースには宇都宮ブリッツェンから、増田成幸、西村大輝、小野寺玲、小嶋溪円、中村魁斗の5名が参加。総勢15チーム・74名がエントリーした。

富士山ステージ

5月28日に開催された初日の富士山ステージ。富士スピードウェイ西ゲートからスタートし東京五輪タイムトライアル周回コースの一部を4周し、ふじあざみラインをのぼって、富士山5合目をゴールとする総走行距離78.8km、獲得標高2602mのコース。例年のコースに加え、ラスト150mで斜度20%の坂を上るよう延伸された。レース序盤7km地点で6名の逃げ集団が形成される。ブリッツェンは後方のメイン集団をコントロール。周回コースを抜けたところで逃げ集団を吸収、そのままふじあざみラインへと入った。すると留目夕陽 (日本ナショナルチーム) が先行。増田が後方集団10名の中に入り、じんわりと距離を縮めていく。ふじあざみラインの中間地点となる馬返しで、トマ・ルバ (キナンサイクリングチーム) が加速し留目を吸収、それを増田のみが追従。勝負は先頭に躍り出たトマと増田の一騎打ちとなった。

ゴールまで残り1km程になったところで増田が先行。トマに11秒の差をつけて勝利した。第1ステージの王者ということで、増田は個人総合時間賞 (個人1位) ならびに山岳賞を受賞。宇都宮ブリッツェンはリーダーチームとして、増田は緑色のリーダーチームとして、増田は緑色のリーダーチームとして身をまとい、次戦の相模原ステージに挑むこととなった。

相模原ステージ

翌5月29日開催された、相模原ステージ。昨年新たに組み込まれたステージだが、昨年の開催中止を受け、今年が初開催となった。市街地をパレードランで抜けたのち、宮ヶ瀬ダムを通る鳥居原ふれあいの館周辺の周回コースを7周する総走行距離108.5kmのコース。



周回コースに入ると、総勢16名の逃げ集団が形成される。その中に小野寺も入っており1回目の山岳ポイントを獲得。小野寺が逃げ集団からメイン集団に合流したところで、次の周回のトンネル区間でブリッツェンが起因となる落車が発生。小野寺も巻き込まれバイク交換を余儀なくされたがすぐに集団に復帰した。その後利害が一致するチームと協力しあい先行集団を追いかけるもタイム差が縮まらず最終周、先行する逃げ集団内でのスプリント勝負となりホセ・ビセンテ・トリビオ (マトリックスパワータグ) が優勝。チームは増田の26位が最上位でレースを終えた。増田は個人時間賞と山岳賞をキープ。この時点で本ツアーレースでの山岳賞の獲得が確定した。



ー東京ステージ

最終日5月30日に開催された、東京ステージ。大井ふ頭を16周回する総走行距離112kmのコース。例年は日比谷公園からのパレード走行を伴ってのレースだったが、本年は大井ふ頭周回コース内のみでの開催となった。

序盤から各チームの激しいアタック合戦が繰り広げられ、逃げては吸収されを繰り返して集団のまま8周回まで完了する。その後5名の逃げが決まりブリッツェンはメイン集団をコントロール。残り3周になると逃げ集団の中から川野碧己(弱虫ペダルサイクリングチーム)、小林海(マトリックスパワータグ)がアタックし、その

勢いそのまま最終周回へ。残り30mほどで川野が飛び出し、初優勝を飾った。ブリッツェンは後方で集団ゴール。増田が獲得した総合時間賞、山岳賞を守り抜き、15大会ぶりの日本人総合優勝でレースを終えた。

2021 ツアー・オブ・ジャパン

■個人総合時間賞

増田成幸 (宇都宮ブリッツェン)

■個人総合ポイント賞

川野碧己

(弱虫ペダルサイクリングチーム)

■個人総合山岳賞

増田成幸 (宇都宮ブリッツェン)

■個人総合新人賞

留目夕陽 (日本ナショナルチーム)

■チーム総合順位

マトリックスパワータグ



特別企画

6/20 チーム公開トレーニング & ジャパンカップチャレンジライド

宇都宮市森林公園



ーチーム公開トレーニング



6月20日、宇都宮市森林公園内にて宇都宮ブリッツェン運営会社による「公開トレーニング」とファン向けライドイベント「ジャパンカップチャレンジライド」を同時開催した。コロナ禍でレースやイベントの中止・延期が相次ぐなか選手たちの姿をファンの皆様に見ていただきたいという思いのもと実施。開催日3日前の案内にも関わらず多くの方が会場に見えた。

当日は、増田と中村を除いた選手8名が参加。公開トレーニングではジャパンカップコースを9周する周回トレーニングを実施。レースさながらのスピードで駆け抜けていく選手たちに多くのファンが声援を送った。

当日は廣瀬副社長による「ジャパンカップコースチャレンジライド」も併催。選手たちと同じコースを2周する内容で、16名の方が参加した。

トレーニング終了後、チーム・選手からの挨拶を終え交流時間になると、たちまち選手たちの目の前にはサインや写真撮影を求めるファンの方たちによる長蛇の列が。今季は無観客・オンラインでのイベント実施がほとんどで、選手とファンの方が顔を合わせる機会は今回がほぼ初。今季新規加入した選手たちにとってはブリッツェン選手として初めてのファンとの交流の機会となった。



この日集まってくれたファンの皆様とともに記念撮影



大道ポリスとの自転車安全教室はじめました！

チーム立ち上げ当初から地域貢献の一環として継続して行っている自転車安全教室。今年6月より新たな試みとして、主に県内の学校やイベント会場などでパフォーマンス付きの交通安全広報を行っている栃木県警察のおまわりさん「大道ポリス」とともに自転車安全教室を実施しています。より親しみやすく、参加者の記憶に残る教室となり、交通事故減少に寄与していきます。楽しく交通安全を学んで、ルールを守って自転車に乗っていきましょう！

Race Schedule

- 07/10 (土) JCL 広島トヨタ広島ロードレース / 広島県
- 07/11 (日) JCL 広島トヨタ広島クリテリウム / 広島県
- 07/24 (土) Olympic Games
- 08/08 (日) JCL 大分オートポリス / 大分県
- 08/28 (土) ~ 08/29 (日) JBCF 東日本トラック / 未定
- 08/29 (日) シマノ鈴鹿ロードクラシック / 三重県
- 09/11 (土) JCL 山口ながとクリテリウム / 山口県
- 09/12 (日) JCL 秋吉台カルストロードレース / 山口県
- 09/24 (金) ~ 26 (日) ツール・ド・北海道 / 北海道
- 10/10 (日) UCI 大分アーバンクラシック / 大分県
- 10/16 (土) ジャパン・カップ・クリテリウム / 栃木県
- 10/17 (日) ジャパン・カップ・ロードレース / 栃木県
- 10/29 (金) ~ 10/31 (日) ツール・ド・熊野 / 和歌山県
- 11/14 (日) UCI ツール・ド・おきなわ / 沖縄県
- 12/04 (土) ~ 05 (日) 全日本選手権自転車競技大会シクロクロス

コンチネンタルホーム presents 宇都宮ブリッツェンフレンドシップクリテリウム

宇都宮ブリッツェン運営会社による、自転車レースイベントです。
 開催日：7月25日(日) 9:00 - 16:00
 会場：宇都宮市道場宿(宇都宮市道場宿上川原地先)
 「スポーツエントリー」内専用ページにて、エントリー受付中。
 皆さまのご参加、心よりお待ちしております！

お申し込みはコチラ→
 ※定員になり次第募集終了します



ボランティアスタッフ募集中！

宇都宮ブリッツェンでは、県内で開催されるさまざまなレースやイベントの運営サポートやその他地域活動のサポートをしてくださるボランティアスタッフを募集しております。サイクルードレースやスポーツに興味があり、ボランティア活動を通して、チームを支援してくださる方、ボランティア未経験の方も大歓迎です。ご応募はコチラ→



私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています

